

2024 年度第一回 JARR 幹事会議事録

日 程：2024 年 2 月 18 日（日）13:30～14:50

場 所：ホテル機山館地下 1 階翠の間（〒113-0033 東京都文京区本郷 4-37-20）と Microsoft Teams のハイブリッド開催

参 加 者：高橋憲司、中川清子、島田義也、原田浩、飯塚大輔、長谷川正俊、三浦雅彦、保田浩志

欠 席 者：立石宇貴秀、石川仁

ホ ー ー：宮川清

審議事項

I 役員を選出（会長、副会長（2名）、庶務幹事、監事（2名））

審議の結果、以下の役員を選出が行われた。

会 長：島田義也（日本放射線影響学会）

副 会 長：三浦雅彦（日本放射線腫瘍学会生物部会）

副 会 長：高橋憲司（日本放射線化学会）

庶務幹事：飯塚大輔（日本放射線影響学会）

監 事：石川 仁（日本放射線腫瘍学会）

監 事：原田 浩（日本放射線影響学会）

報告事項

I JARR の活動について

- (1) 日本放射線影響学会第 66 回大会において日本放射線腫瘍学会生物部会との連携シンポジウム「Next generation of radiotherapy and radioprotection based on precise radiosensitivity（放射線感受性の個人差に基づく次世代の放射線治療と放射線防護）」を開催するにあたり、学会連携企画セッション等開催助成制度への応募があった。審議の結果、承認され、助成が行われた。
- (2) 国際放射線研究連合（IARR）への日本からの幹事推薦について、JARR 構成学会に依頼し、Councilor for Biology に高橋昭久先生（群馬大学）と Councilor for Medicine に田代聡先生（広島大学）を推薦したが、最終的に落選した。なお、JARR 推薦枠には原田浩先生（京都大学）が就任した。
- (3) 2023 年 8 月の国際放射線研究会議（ICRR2023）総会で IARR の定款・細則の修正・更新が議論された。この修正・変更は主に IARR がより機能的で効率的に動けることを目的に、「IARR 理事会が全ての業務を遂行する責任を持ち、総会が不要になること」であった。JARR にも承認依頼があり、審議の結果、本修正案が承認された。なおこの新しい定款・細則に基づくと JARR からは 2 名の Councilor を追加できることになり、審議の結果、前述の高橋昭久先生と田代聡先生を選出した。

- (4) 2022 年より JARR ホームページはブルーリッジ株式会社に外部委託して運用している (<https://www.jarr.jp/>)。「お知らせ」に JARR 構成学会の年会などの情報を掲載しており、2024 年以降の情報にアップデート予定である。

II その他

- (1) アジア放射線研究会議 (ACRR) 2025 は、広島で 2025 年に開催予定。
(2) ICRR2027 は、チェコで 2027 年に開催予定。

III 会計・監査報告

2023 年度会計報告と監査報告がなされた。

その他

- ・ ICRR の次期日本誘致について、現状では積極的に誘致すべき動機付けが見当たらないが、JARR 構成学会に確認することが方針として示された。なお、ICRR2023 (モンリオール) では、米国 Radiation Research Society との合同大会として位置づけられていたように、日本に誘致する場合でも日本の学会との合同大会として行うこともありえるのではないかという意見が出された。
- ・ ICRR において JARR は国際的に日本の代表として認知されていることから、引き続き、JARR を維持・発展させることが重要であるという意見が出された。さらに JARR の活動方針として、参画学協会の増加を図ることを検討してはという意見が出された。

以上